

市民の積極的、自主的な文化活動の一層の促進と機会の充実を図るため、現代の文化・芸術の振興に資する事業、伝統的な文化を普及する事業、名古屋市文化施設の管理運営などを行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与する。

1 文化施設等を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、名古屋市から指定管理者として受託している文化施設等を活用して、様々な分野の文化芸術に関する体験事業や鑑賞事業を実施することで、市民が文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保、提供し、豊かで充実した生活の実現に寄与する。

参加・体験事業

(1) 文芸作品募集事業 (補助金事業 予算額 2,000千円)

1 子どものための文芸コンクール「書こう！きみの物語」

小中学生を対象に童話、児童文学、小説の創作作品を公募し、入賞作品に賞を授与する。入賞作品はウェブサイトで公開するとともに、作品集を刊行する。
作品募集期間／2026年7月～9月 選考／文芸関係者 授賞式／2026年12月

2 コトノハなごや

名古屋にまつわる写真から想起される短編の創作作品を公募し、入賞作品に賞を授与する。入選作品はウェブサイトで公開するとともに、作品集を刊行する。あわせて、選考委員が入選作品の講評や文芸の魅力語る関連イベント「コトノハなごやサロン」を開催する。
作品募集期間／2026年7月～8月 選考／文芸関係者 コトノハなごやサロン／2026年12月

(2) 学生参加事業 (補助金事業 予算額 3,600千円)

NAGOYA GROOVIN' SUMMER 2026

学生の文化芸術活動を支援するため、学生参加型の事業として、地元で活動する中・高・大学生のジャズビッグバンドが多数出演する音楽イベントを開催する。ゲストと学生が共演する場を設け、次世代を担う学生に良い刺激を与えるステージとする。なお、今回は岡谷鋼機株式会社との共催で開催する。

日程／2026年8月8日(土)～9日(日)〈4回〉 会場／岡谷鋼機名古屋公会堂

出演／日本学校ジャズ教育協会(JAJE) 中部支部所属の学生団体、大学での活動団体、ゲストアーティスト

共催／岡谷鋼機株式会社

(3) 子どもアートランド (補助金事業 予算額 7,360千円)

「子どもアート万博」「子どもアートピア」に続く、地域と連携した子ども向け参加体験イベントを実施する。3回目となる今回は、緑文化小劇場を中心に、公演やワークショップを通じて、子どもたちが文化芸術に興味を持つきっかけをつくる。

日程／2026年12月12日(土)～13日(日)

会場／緑文化小劇場、ヒルズウォーク徳重ガーデンズ等

内容／愛知室内オーケストラによるコンサート、鳴海商工会猩々の演舞、有松絞体験、人形づくりワークショップ等

(4) 子ども美術展 (自主財源事業 予算額 800千円)

子ども名画展～なごやのまち～

名古屋市内の名所やランドマーク施設などで開催されている子ども向け絵画コンクール(写生大会)の優秀作品を、名古屋の中心地に位置する市民ギャラリー栄に集めて再展示する。

日程／2027年1月5日(火)～10日(日) 会場／市民ギャラリー栄

出品施設／農業文化園・戸田川緑地、鶴舞公園、名古屋市科学館、中村公園 他

(5) NAGOYA CULTURE WATCH (補助金事業 予算額 13,000千円)

アジア・アジアパラ競技大会の開催を機に名古屋を訪れる多くの観光客や若い世代が、能楽を中心とする名古屋に息づく伝統芸能に気軽に触れられる機会とする。

1 能楽まちなかWATCH

名古屋市内のにぎわいのある会場において、能楽のステージを実施。また、能楽を中心とする伝統芸能に気軽に触れる機会として、様々な体験コーナーを設ける。

日程/2026年9月12日(土) 会場/オアシス21 銀河の広場

2 名古屋文化まちなかSHOWCASE

アジア・アジアパラ競技大会の開催期間に、主要競技会場であるパロマ瑞穂スポーツパークで、名古屋の文化芸術に触れるステージイベントを実施。

日程/2026年9月27日(日)、10月4日(日) 会場/パロマ瑞穂スポーツパーク場外特設ステージ

鑑賞事業

(1) なごや子どものための巡回劇場 (補助金事業 予算額 9,000千円)

演劇、人形劇、音楽劇、管弦楽、バレエ等の本格的な公演を、子どもたちに身近な会場(文化小劇場など)にて、低料金で開催する。

時期/夏休み、春休みなど小学校等の休日における昼間。

公演回数/32公演

出演/名古屋フィルハーモニー交響楽団 はじめ7団体 共催/名古屋市

(2) 子どもに贈る文化芸術体験提供事業 こんにちは! 子どもTouch

(自主財源事業 予算額 2,000千円)

養護施設や母子生活支援施設など、諸事情で劇場に足を運ぶことが困難な子どもたちに文化芸術を届けるアウトリーチ事業を開催する。

時期/通年

会場/名古屋市内の児童養護施設、母子生活支援施設、小児病棟、子ども食堂等

実施回数/10回

出演/名古屋圏域の児童劇団、管弦楽団団員、Nagoya POP UP ARTIST認定アーティスト等

(3) 市民のための芸術鑑賞会 (自主財源事業 予算額 9,292千円)

大中規模ホールを会場に、優れた舞台芸術を鑑賞していただく公演を開催する。

1 桂文枝 春風亭小朝 東西落語名人会

日程/2026年4月22日(水)〈1回〉 会場/Niterra日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

2 人形浄瑠璃「文楽」

日程/2026年10月15日(木)〈2回〉 会場/アマノ芸術創造センター名古屋

(4) 市民半額鑑賞会 (自主財源事業 予算額 1,330千円)

日本演劇興行協会加盟ホールである御園座の公演を半額で市民に提供する。

年間に3回程度実施し、約2,000枚を提供。

友の会事業 (自主財源事業 予算額 8,142千円)

1 会員向けの落語会等を開催する。

2 催し物情報等を掲載した情報誌「友の会だより」を発行する。

3 事業団主催事業などの会員向け先行予約や割引を実施する。

2 表彰等の実施、活動の場の提供及び相談助言を通じて、芸術家及び文化芸術団体等の創造活動を支援する事業

文化芸術活動のうち創作や発表といった創造的な活動を行う環境を整備するため、文化芸術を支える芸術家及び文化芸術団体等を対象として、表彰・コンクールを実施するほか、活動の場を提供したり、相談に応じることを通じて、創造的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術の振興に寄与する。

(1) 総合舞台芸術公演 (補助金事業 予算額 35,053千円)

名古屋市文化振興事業団2027年企画公演ミュージカル「シークレット・ガーデン」

孤独や喪失感を抱える人々が、自然や人とのつながりを通じて生きる喜びを取り戻し、内面的に成長していく姿を描いたバーネットの名作「秘密の花園」のミュージカル作品を上演する。

日程／2027年2月19日(金)～21日(日)〈6回〉 会場／青少年文化センター

演出・振付／松本和宜 音楽監督・指揮／齋藤友香理

管弦楽／当公演のために若手中心に特別に編成するオーケストラ

出演者／オーディションで決定

関連事業／①オーディション落選者応援プロジェクト

・アウトリーチコンサートへの出演

・基礎力向上ワークショップの開催

②企画公演のあゆみ ポスター・写真展

③伴奏ピアニスト才能発掘プロジェクト

④就労体験サポートプログラム【新規】

若者の就労支援として、お客様対応を通じたコミュニケーションや就労体験の機会として、就労へ不安を抱える若者を、公演当日のフロントスタッフに迎え入れるなど、自立を後押しする。

(2) 企画コンペティションによる美術展 ファン・デ・ナゴヤ美術展 2027

(補助金事業 予算額 2,600千円)

次世代を担う企画者・美術家からのアイデアを公募し、コンペティションによる選考を経て、企画者と選考員が進捗を確認しながら、新たな発信源となる意欲的な美術展に昇華して開催する。なお、会場監視員を芸術大学の学生に依頼するなど、若い世代のセルフマネジメントにつながる実践の場として活用する。

日程／2027年1月8日(金)～17日(日) 会場／市民ギャラリー矢田

(3) 舞台芸術創造事業 (補助金事業 予算額 2,657千円)

若き演奏家たちの饗宴 — 超絶技巧のステージ —

名古屋圏域には多数の音楽系大学があり、学びを終えた未来のアーティストがたくさんいることから、活動の一助となるコンサートを開催する。音楽評論家や音楽ホール関係者などに紹介する仕組みを検討するとともに、超絶技巧を必要とする演奏曲で、聴衆にお楽しみいただく。

日程／2027年1月23日(土)〈2回〉 会場／熱田文化小劇場

出演／名古屋圏域の音楽系大学の卒業生及び在学学生 他

(4) 名古屋市民芸術祭 2026 (補助金事業 予算額 5,700千円)

総合的な芸術の祭典として、2026年10月～11月に名古屋市民芸術祭2026を開催する。

1 主催事業

①名古屋いけばな芸術展2026

日程／2026年10月27日(火)～11月1日(日) 会場／市民ギャラリー栄

②名古屋市民美術展

日程／2026年11月17日(火)～22日(日) 会場／市民ギャラリー栄

2 参加事業

コンペティションとして20公演が参加。

賞／名古屋市民芸術祭賞、名古屋市民芸術祭特別賞

(5) 歴史文化普及啓発事業 やっとかめ文化祭DOORS 〈実行委員会形式〉

(負担金事業 予算額 12,000千円)

歴史的建造物や文化資産を活用する名古屋独自の歴史文化のイベント「やっとかめ文化祭DOORS」(2026年10月17日(土)～11月15日(日))のうち、名古屋の優れた伝統芸能を紹介する「まちなか芸披露」として、舞台公演を制作する「舞台鑑賞事業」2公演と、まちなかで気軽に伝統芸能に触れていただく「まちなか鑑賞事業」及び「体験事業」を実施する。

1 まちなか芸披露・舞台鑑賞事業

①能楽公演

子どもや初めて能・狂言に触れる方にも親しみやすい演目を上演し、ビギナーにも分かりやすい解説付きのプログラムを作成することで、世代を問わず楽しんでもらえる公演を実施。

日程／2026年11月3日(火・祝)〈1回〉 会場／名古屋能楽堂

②新作邦楽公演

若手演奏家の発表の場を設けて伝統芸能の継承を図るとともに、端唄、小唄、長唄それぞれの新作を披露して、名古屋の邦楽の魅力を発信する。

日程／2026年11月15日(日)〈1回〉 会場／名古屋能楽堂

出演／華房流華の会、稲舟妙寿社中、杵屋三太郎(杵三会)、杵屋六春(杵屋六秋社中)

2 まちなか鑑賞事業及び体験事業

①辻狂言、ストリート歌舞伎などの伝統芸能のプログラムを実施。

日程／開催期間中

会場／まちなか(名古屋・栄など)等

②お座敷ライブ

日程／開催期間中

会場／料亭(か茂免、志ら玉)

(6) ナゴヤ・パフォーマー事業 Nagoya POP UP ARTIST 〈実行委員会形式〉

(負担金事業 予算額 1,400千円)

アーティストの活動支援とまちの賑わいづくりに貢献するため、公募によるオーディションで、地下鉄駅や商業施設等で自由にパフォーマンスができるライセンスを合格者に発行する。

日程／通年 会場／市内17施設

認定アーティスト数／累計149組 ライセンス期間／1年

(7) イベント開催等支援事業 (自主財源事業 予算額 6,774千円)

1 イベント開催支援

イベントの開催を検討している主催者に、企画から実施に至るまでの開催支援を行うとともに、地元で活躍するアーティストの発表の場としての機会を創出する。

受注目標／6件程度

2 名古屋市文化振興事業団チケットガイドの運営

事業団が管理する23施設をオンラインでつなぐチケット販売システムを活用し、地元の文化芸術をサポートするチケットガイドを運営する。

販売枚数／40,000枚程度

3 文化芸術に関する相談窓口

各種助成金、サークル・団体紹介、公演やイベントに関する相談など、文化芸術に関する相談窓口をチケットガイドに設ける。

相談件数／200件程度

(8) 名古屋市文化振興事業団芸術創造賞 (自主財源事業 予算額 868千円)

前年度における芸術創造活動が特に顕著で、名古屋圏域の文化芸術の向上と発展に寄与し、今後とも活躍が期待できる個人(団体)を選考し、芸術創造賞を授与する。

選考会／2026年6月 授賞件数／2件 授賞式／2026年8月 名古屋能楽堂 会議室

(9) 名古屋市文化振興事業団演劇賞 (自主財源事業 予算額 520千円)

名古屋女性演劇賞

2018年6月にご逝去された故江崎順子氏(劇団・夏蝶)のご遺族からの寄付金をもとに、故人の演劇分野の振興に対する情熱を後世に受け継ぐことを目的として、名古屋圏域の演劇の振興に寄与し、今後とも活躍が期待できる女性演劇関係者(個人)を選考し、名古屋女性演劇賞を授与する。
選考会/2027年1月 授賞件数/1件 授賞式/2027年3月 名古屋能楽堂 会議室

(10) 支援育成ワークショップ (自主財源事業 予算額 600千円) **【新規】**

事業団が設置する各種専門委員会の委員や事業関係者を講師に迎え、音楽や舞踊、演劇など舞台芸術に関する基礎力向上を図るためのワークショップを開催する。

日程/未定

会場/未定

3 文化芸術に関する情報を収集し、市民に提供する事業

文化芸術の活性化を図るため、市内を中心として活動する芸術家及び文化芸術団体等の創造活動の状況の調査及び資料収集を行い、それらの情報を情報誌の発行やウェブサイトの運営等の様々なかたちで広く発信することを通して、文化芸術に関する情報を広く市民に提供することにより、市内の文化芸術の活性化を図る。

(1) 文化情報誌の発行 (補助金事業 予算額 2,604千円)

名古屋圏域における舞台芸術、美術、文学、生活文化等の活動に関する情報を市民に提供するため、「なごや文化情報」を紙媒体(12ページ)で発行するとともに、場所を選ばずスマートフォンなどで読むことができる専用ウェブサイトで発信する。

発行部数/1,500部

発行回数/4回(季刊)

(2) 文化情報ひろばの運営 (補助金事業 予算額 7,365千円)

市内及び近郊で開催される公演や美術展のチラシの配架、ポスター掲出、文化芸術関係の図書の見覧コーナーを設けるなど、ナディアパーク7F文化情報ひろばを運営する。

(3) 能楽堂PRグッズの制作 (自主財源事業 予算額 3,720千円)

令和7年度に開発した能楽堂オリジナルキャラクター「能楽 紡ぎ手」を活用し、商用グッズ化して販売することにより、名古屋能楽堂の観光施設としてのPRや、能楽の魅力を発信する。

(4) 世界劇場会議フォーラム2027 (自主財源事業 予算額 500千円) **【新規】**

1993年の設立以来、劇場をテーマにフォーラムを開催してきた世界劇場会議。前回の「劇場100年時代は来るのか」のテーマを引き継ぎ、多様な価値観、生活様式があふれる現代社会でどのように存在価値を示していくか、地域劇場の持続可能性について考える。

日程/2027年2月25日(木)~26日(金) 会場/東文化小劇場

4 文化活動拠点づくりのための施設運営事業

市民の文化芸術の活動の場として提供し、併せて施設及び地域の特性を生かした文化事業を行う。

(1) 施設管理

名古屋市から指定管理者として受託したアマノ芸術創造センター名古屋、名古屋市青少年文化センター、名古屋能楽堂、名古屋市文化小劇場15館（中村・南・西・港・天白・名東・守山・北・緑・東・熱田・千種・中川・瑞穂・昭和）、名古屋市民ギャラリー2館（栄・矢田）、名古屋市演劇練習館、名古屋市東山荘及び名古屋市上社レクリエーションルーム、合計23施設の管理運営をとおして、市民の文化活動を支援する。

※以下の施設は工事のため休館予定。

- 4月1日～5月31日 緑文化小劇場
- 4月1日～5月31日、3月1日～15日 中川文化小劇場
- 6月1日～7月3日 天白文化小劇場
- 7月1日～9月30日 名古屋能楽堂
- 7月1日～1月31日 西文化小劇場
- 10月1日～1月31日 青少年文化センター
- 10月17日～12月3日 名東文化小劇場
- 1月4日～3月31日 北文化小劇場

(2) 施設事業

上記の23施設において、約380事業を実施予定。代表的な事業は下記の通り。

1 舞台公演等創造事業

音楽、舞踊、演劇など多彩な公演を制作し、名古屋の文化基盤を強化するとともに、市内外に発信する。

① 青少年文化センター30周年記念事業

（青少年文化センター）

愛知県立芸術大学の音楽学部の学生によるウインドオーケストラコンサートを実施。創立60周年を迎える愛知県立芸術大学と連携し施設の認知度を向上させる。

② 城山・覚王山地域との連携演劇公演

（千種文化小劇場）

（公財）名古屋まちづくり公社と連携し、地域の歴史・文化資源である揚輝荘を題材にした新作演劇公演を実施する。名古屋で活躍する劇団オイスターズが出演を予定。

③ Nagoya Theater Performer Project (NTPP)

（中村文化小劇場・演劇練習館）

出演者は中学生から22歳までの演劇に興味のある方を公募、東海地区で活躍するアーティストを講師・音楽監督に招き、一から演劇を創り上げ公演を開催する。

2 地域コミュニティ創出事業

文化芸術活動を活用して、地域コミュニティの活性化を図り、地域社会の課題解決に対応する。

① 劇場パートナーの運営

（文化小劇場、市民ギャラリー矢田）

各文化小劇場において、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる多様なジャンルの実演団体を運営する。

② ガイドボランティアの実施

（名古屋能楽堂）

能楽堂の舞台公演日にボランティアによる解説を実施。

研修・会議を開催してスキルアップと交流を図り、能楽堂を市民参画の場として活用する。

3 バリアフリー事業

障害のある方へのチケット割引や鑑賞サポート等を行い、年齢、障害の有無、国籍等に関わらず様々な人が参加できる事業を実施する。

① みみコン for KIDS!!

(熱田文化小劇場)

補聴器や人工内耳を使用されている方への鑑賞サポートが入るコンサートを実施。聴者にも聞こえにくい障害についての理解を深めてもらう内容とする。

② 外国人留学生と紡ぐ舞台芸術

(瑞穂文化小劇場)

外国人留学生を対象とした伝統芸能ワークショップを実施。和太鼓・日本舞踊など言語能力に関わらず参加できるプログラムを用意し、外国人留学生に文化芸術に触れる機会を提供し地域社会への参加を促す。

③ 車いすダンス公演

(千種文化小劇場)

段差のないバリアフリーな劇場の特長を生かし、障害の有無に関わらず、それぞれが得意な表現活動を行うダンス公演を開催する。

4 文化芸術体験事業

質の高い文化芸術を鑑賞・体験する事業を実施し、文化芸術に親しむ人づくりを長期的な視点をもって実施する。

① みる・まなぶ・ダンス!

(全文化小劇場/アウトリーチ)

名古屋市立の全幼稚園を対象に、コンテンポラリーダンスのワークショップを開催し、協調性やコミュニケーション能力を養う機会とする。

② 夏休み子どもミュージカル講座

(中村文化小劇場・演劇練習館)

夏休み期間中に、子どもたちがプロの演出家に音楽・ダンス・演劇を学び、舞台に立つ機会を提供する。

③ プロに学ぶ演劇講座

(天白文化小劇場)

名古屋で活躍するプロの俳優による、初心者でも参加できる演劇講座を開催し、最終日には劇場での発表の場を設けることで、演劇文化の土台作り貢献する。

5 支援育成事業

新進芸術家の育成を視野に入れた事業を展開し、名古屋の文化芸術の発展に寄与する。

① NEXT ARTIST NAGOYA

(中村・南・天白・守山・中川・瑞穂文化小劇場)

名古屋圏域の芸術系大学の卒業生をはじめ、将来有望な若手アーティストへ公演機会を提供し、制作業務から当日の運営を伴走支援する。

② 能楽インターンシップ

(名古屋能楽堂)

能楽の世界に進みたい学生等が、プロの能楽師が開設する稽古場での指導を体験するインターンシップ型事業を実施する。

③ 次世代アーティスト企画展

(市民ギャラリー栄)

若手アーティストをピックアップし、次世代アーティスト企画として個展を開催する。